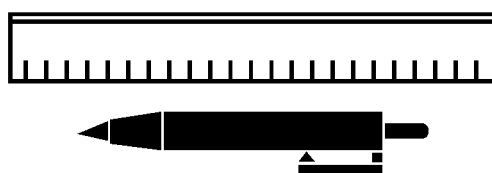
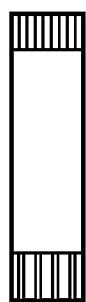
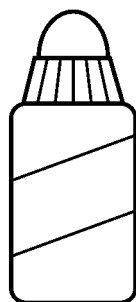
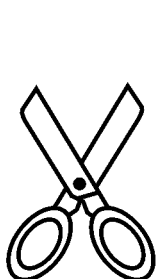


「小さな町ベツレヘム」の ジオラマ



用意するもの



- はさみ
- スティックのりか木工用ボンド
- 金属の定規（真っすぐに切ったり線を引いたりするため）

- インクのなくなった古いボールペン (折りすじを付けるため)
- 自分で色をぬる場合は、色鉛筆やマーカーペン

印刷

PDFファイルを
ダウンロードし、
カラー版を使う場合
は4～9ページ、
自分で色をぬる場合
は10～15ページを
厚紙に印刷する。

切り抜き方

厚紙のピースは通常、2段階に分けて切る。

1. 各々のピースをざっくりと切り分ける。
この段階では、まだ輪郭の実線に沿って切らない。
2. 各ピースが切り離されれば、他のピースを気にすることなく折りすじを付けることができる。
その後に、最後の細かい切り抜き作業をするのが最善。

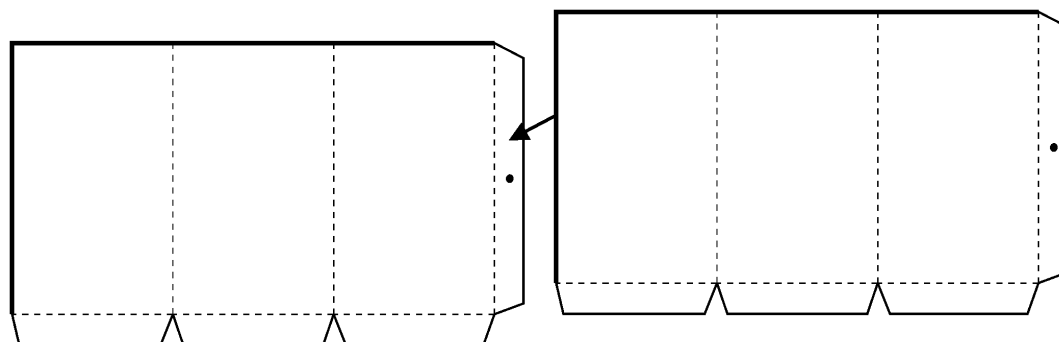
折りすじの付け方

折りすじを付けるには、線に沿って金属定規を当て、インクの入っていないボールペンのペン先を押し当てて、すじを付ける。特に小さなピースは、小さく切った後に細かい折りすじを付けるのは難しいので、正確に折り曲げるためにも、あらかじめ折りすじを付けておくことが大切。

注意

はさみやカッターナイフや、すじを付けるための道具を使う時は、ケガをしないように注意し、小さな子供達の手の届かない所に置いておく。

背景の組み立て方

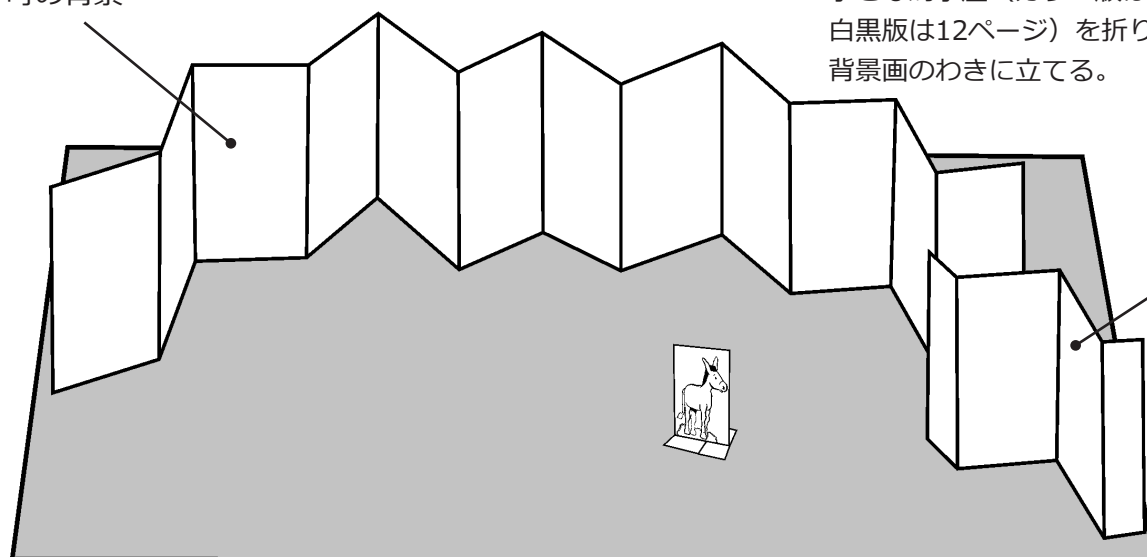


町の背景4枚を貼りつなげる。（ピース1の のり代^{しろ}はピース2に貼り付け、ピース2の のり代はピース3に貼り付け、ピース3の のり代はピース4に貼り付ける。）のりが乾いたら、背景画をじゃばら式に折って、緑色やうす茶色の大きな台紙の上に立てる。

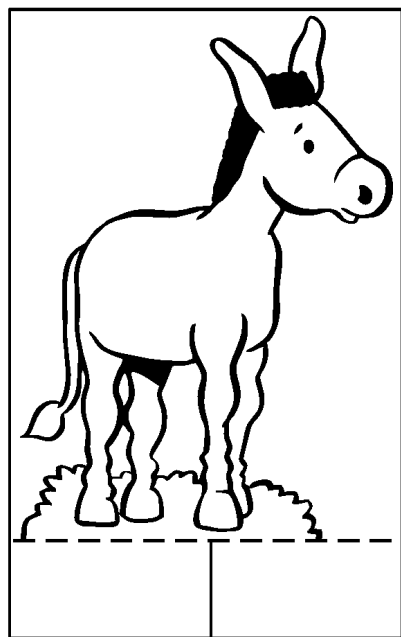
町の背景

小さな馬小屋（カラー版は6ページ、白黒版は12ページ）を折り線で折って、背景画のわきに立てる。

馬小屋

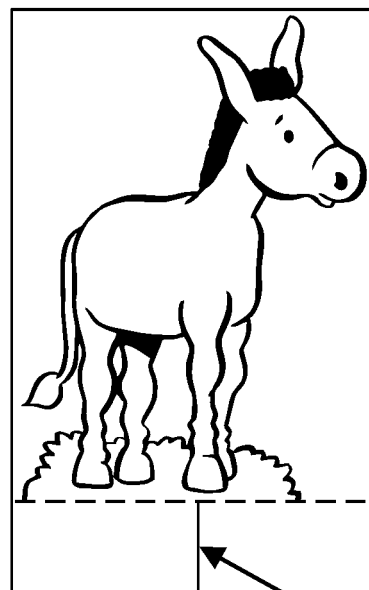
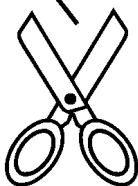


フィギュアの組み立て方

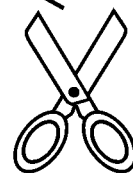


1. 各フィギュアの下点線に
折りすじを付ける。(2ページの
「折りすじの付け方」を参照)

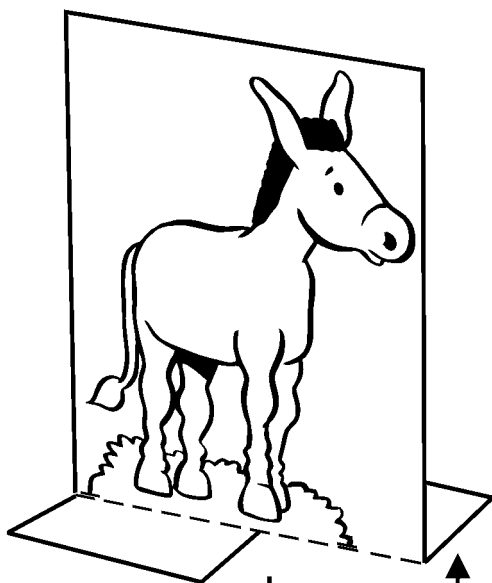
2. 各フィギュアを周りの
線に沿って切り抜く。



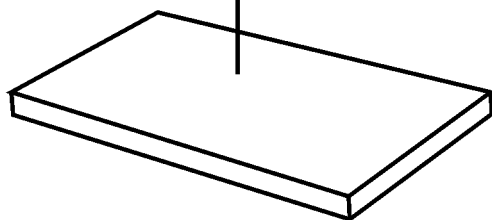
3. 各フィギュアの底面部分の
真ん中の線に沿って切り込みを
入れる。



4. 絵のように、
各フィギュアの底面を
片側ずつ前と後ろに
折って、フィギュアが
立つようにする。



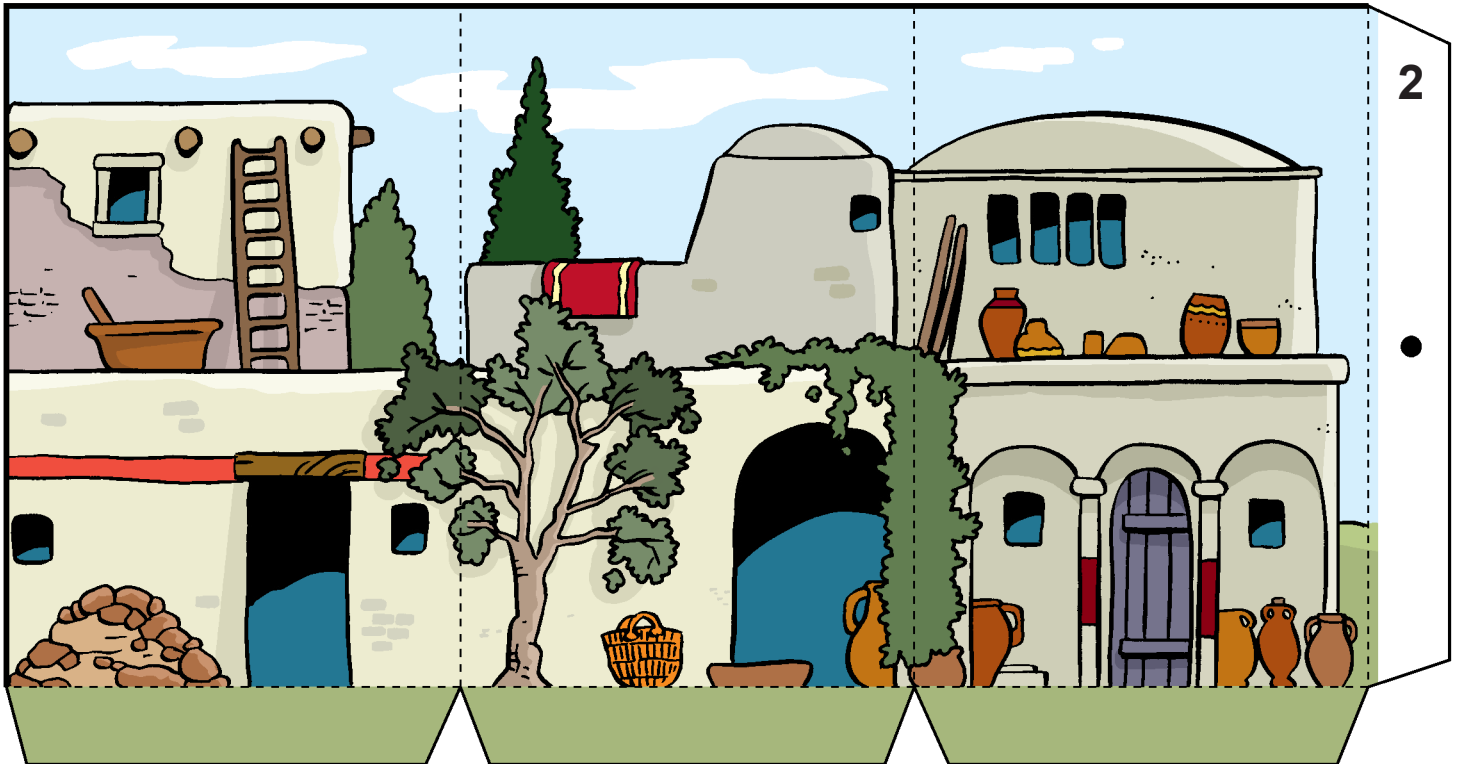
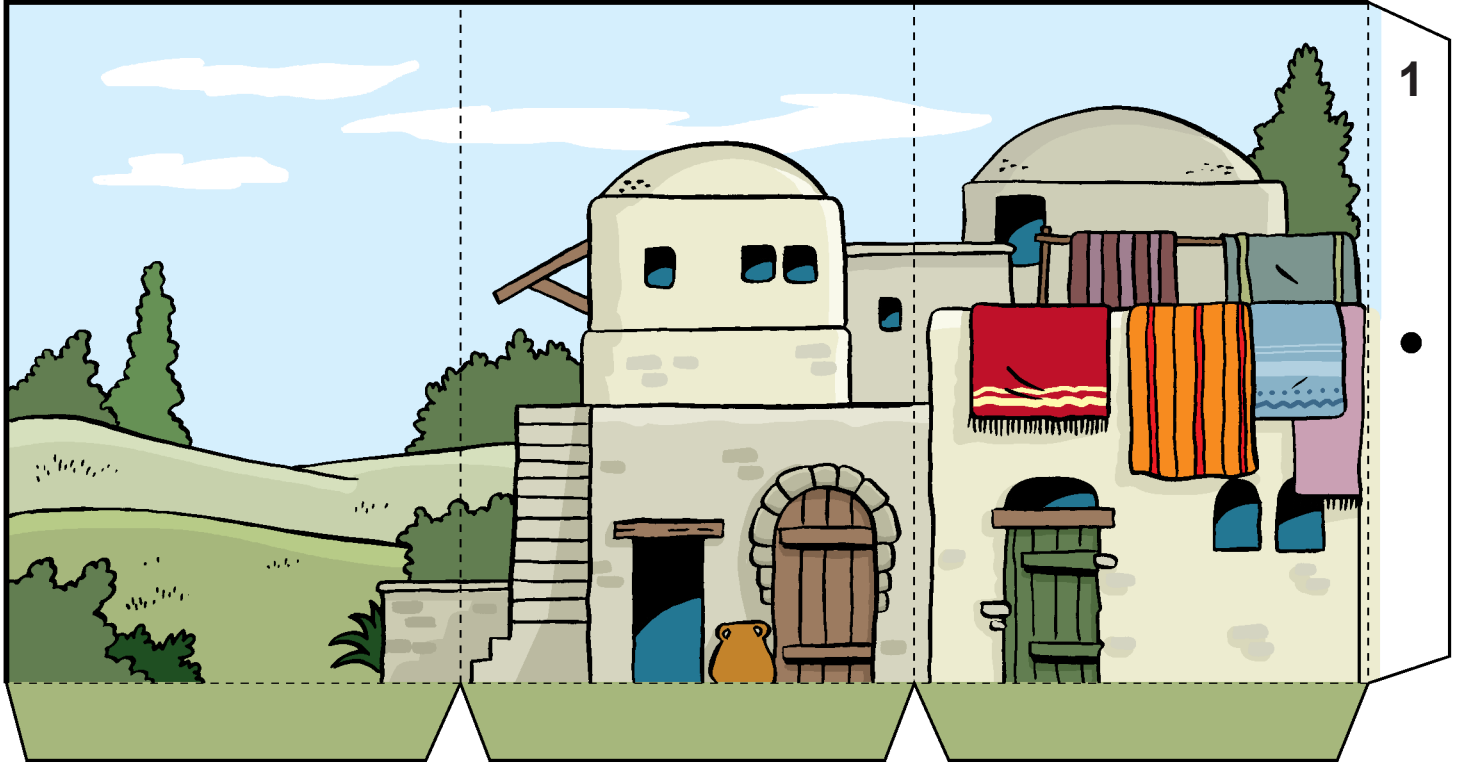
任意：フィギュアの底面を
厚紙に貼り付けて補強すれば、
もっと安定する。(背景になる
台紙の色と同じ色だと、
なお良い。)

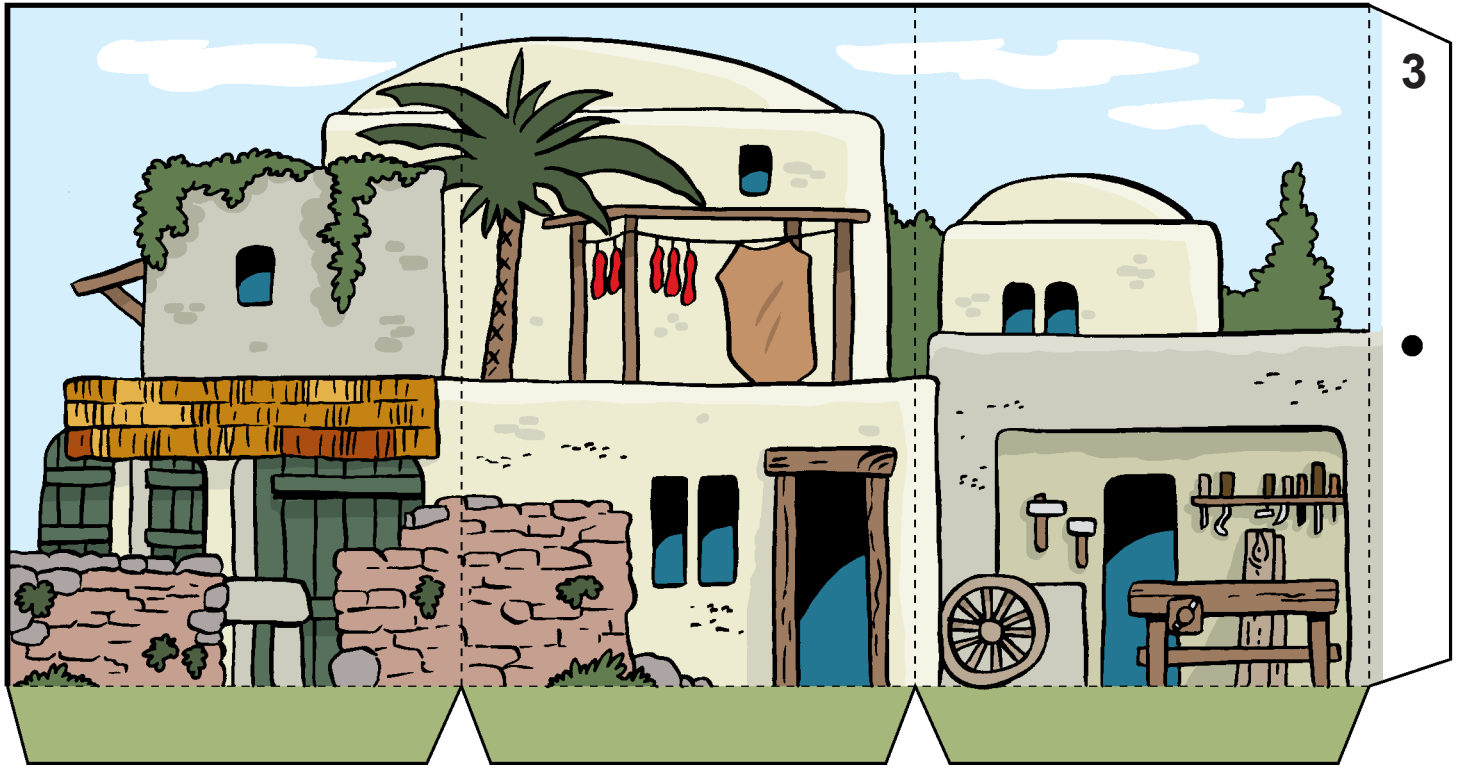


スティックのり

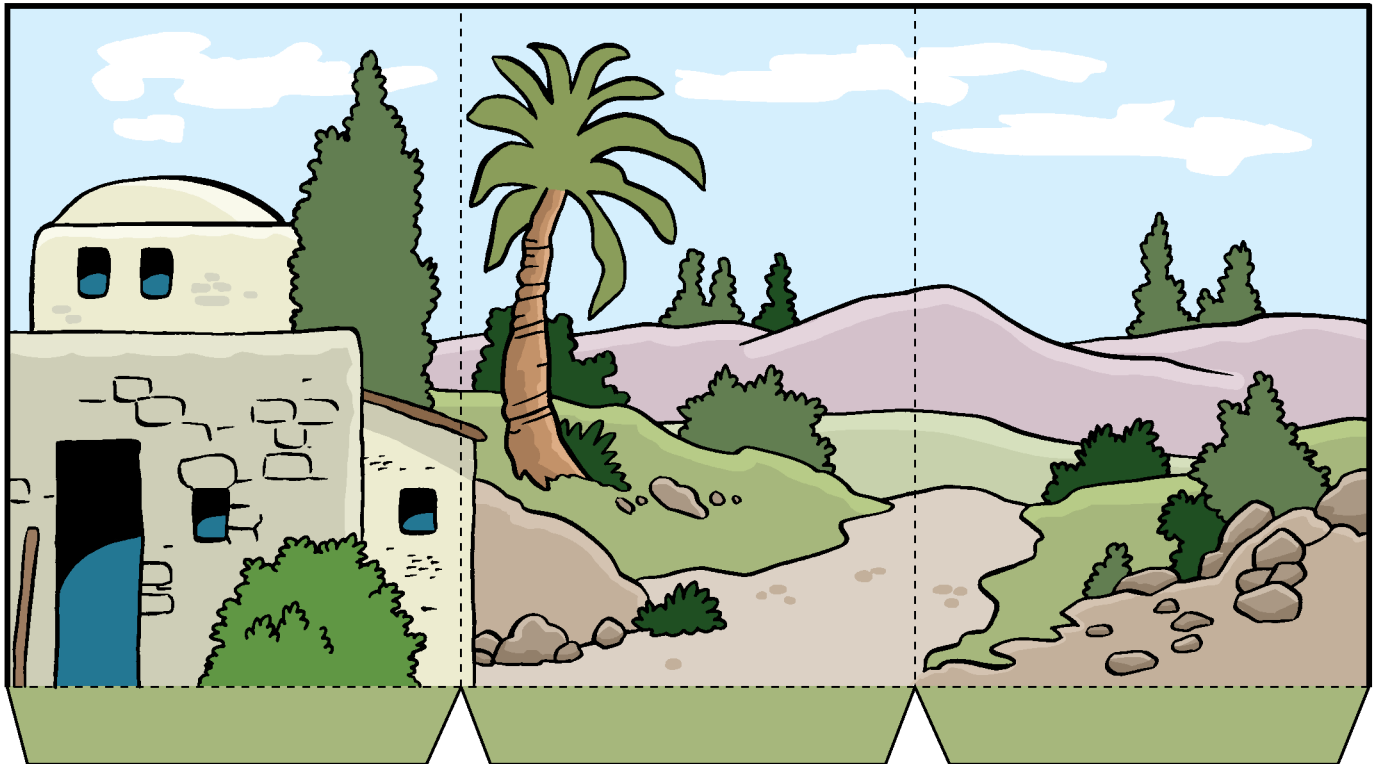
フィギュアが出来上がったら、
クリスマスの背景画の前に並べる。

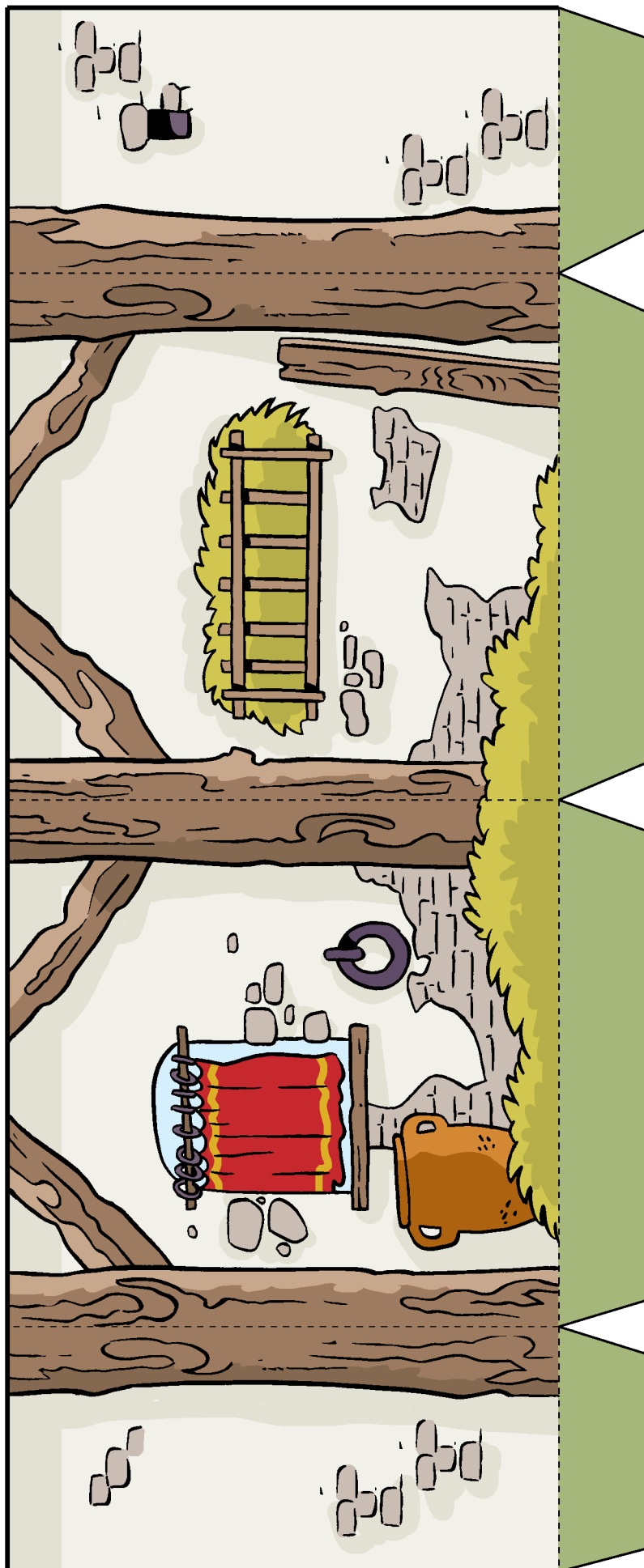
馬小屋も含めて背景が用意できたら、クリスマス・アドベント・カレンダーとして使ってもよい。
フィギュアは全部で24個あるので、12月1日から始めて、まず背景を飾り、毎日新しいフィギュアを
1つずつ追加することができる。クリスマスの24日に、すべてのフィギュアがそろうことになる。

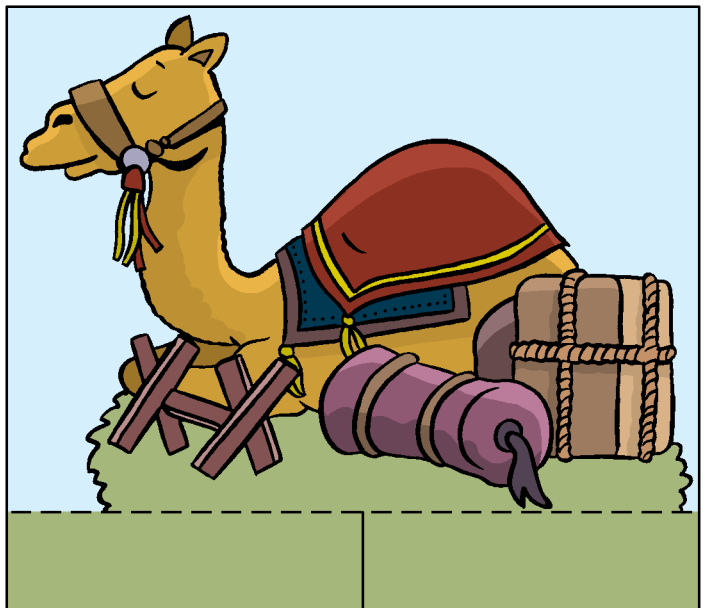
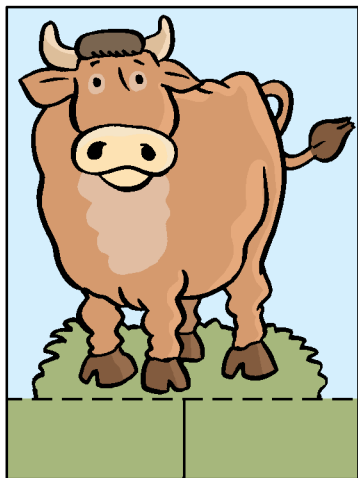
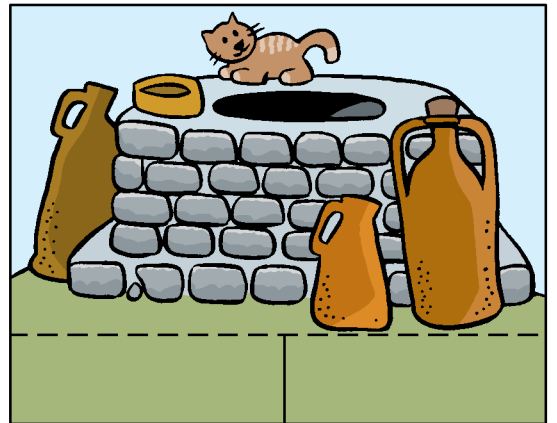
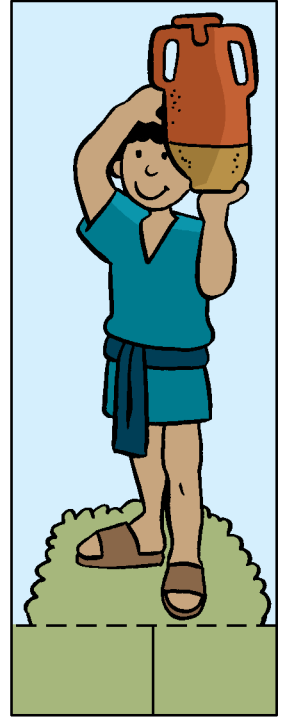
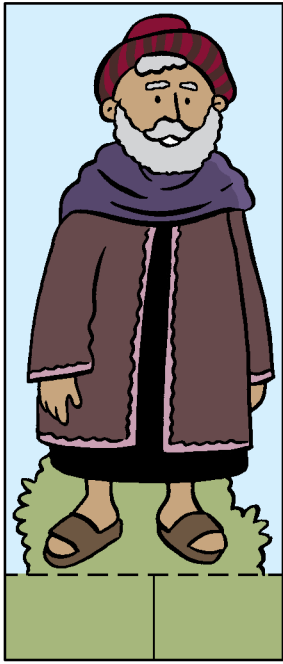


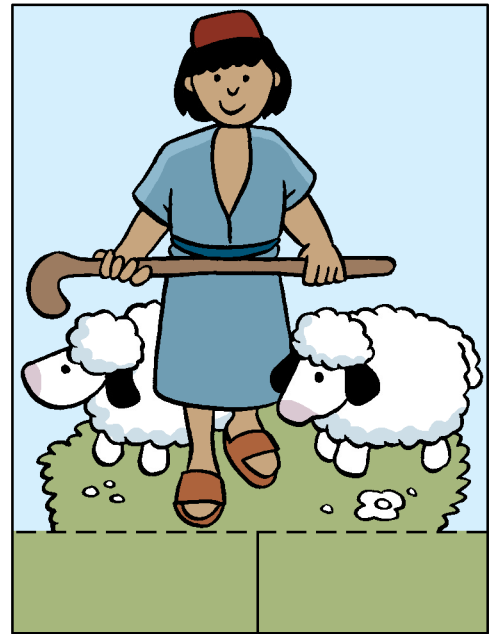
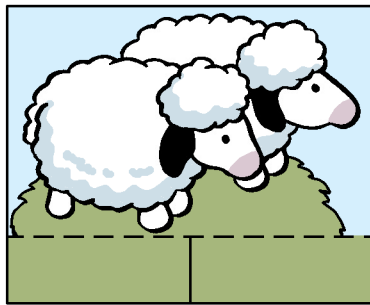
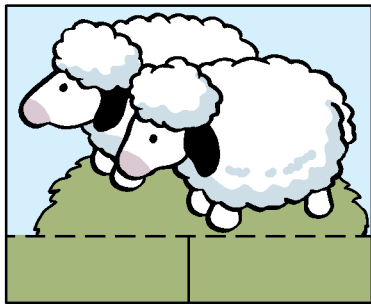
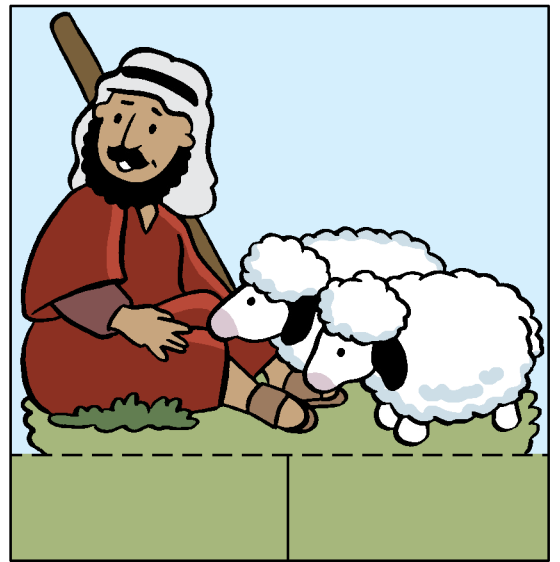


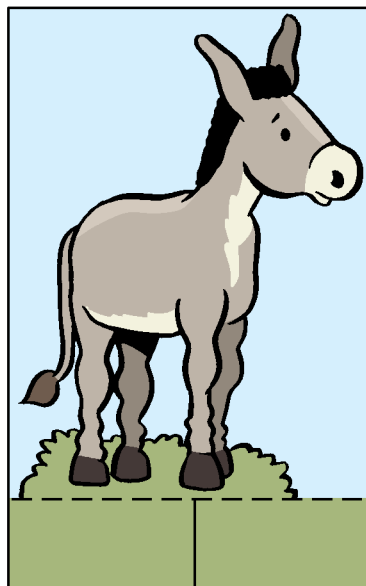
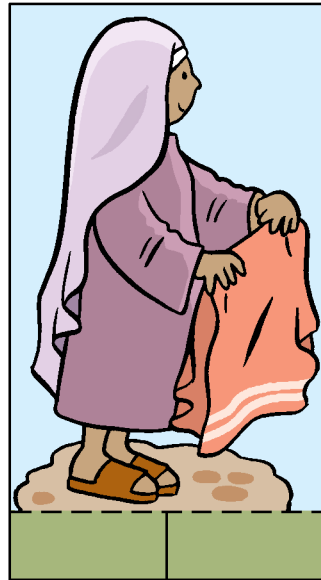
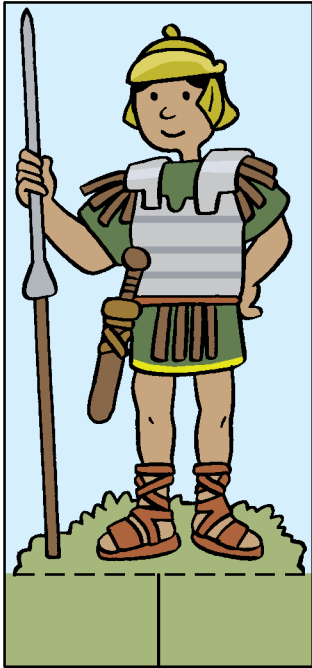
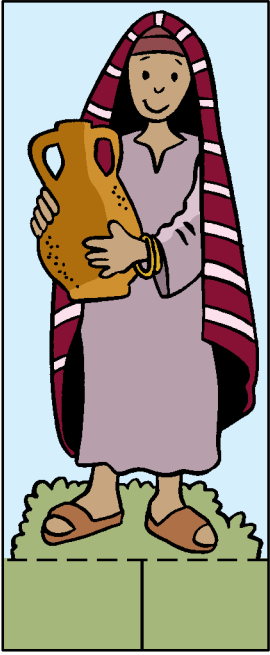
4

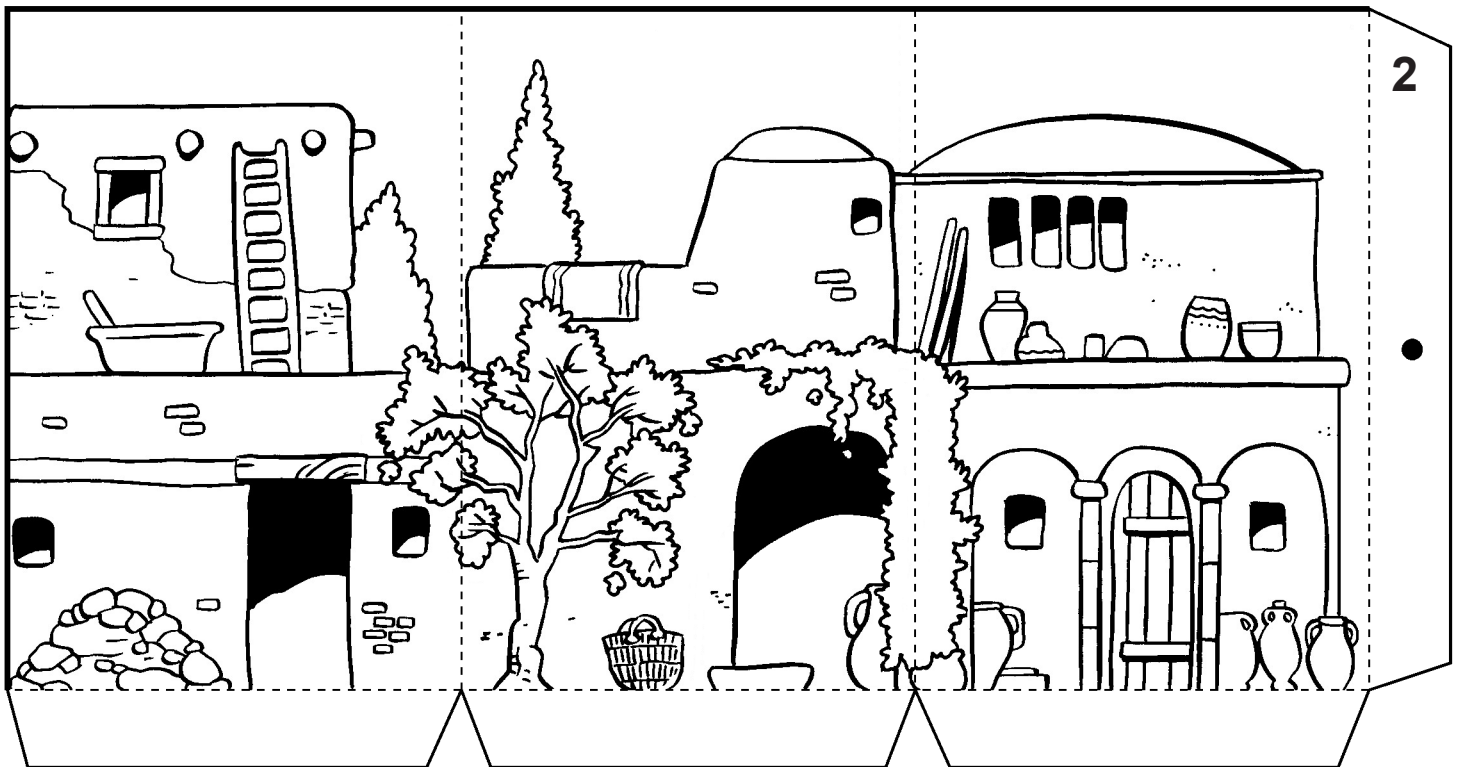
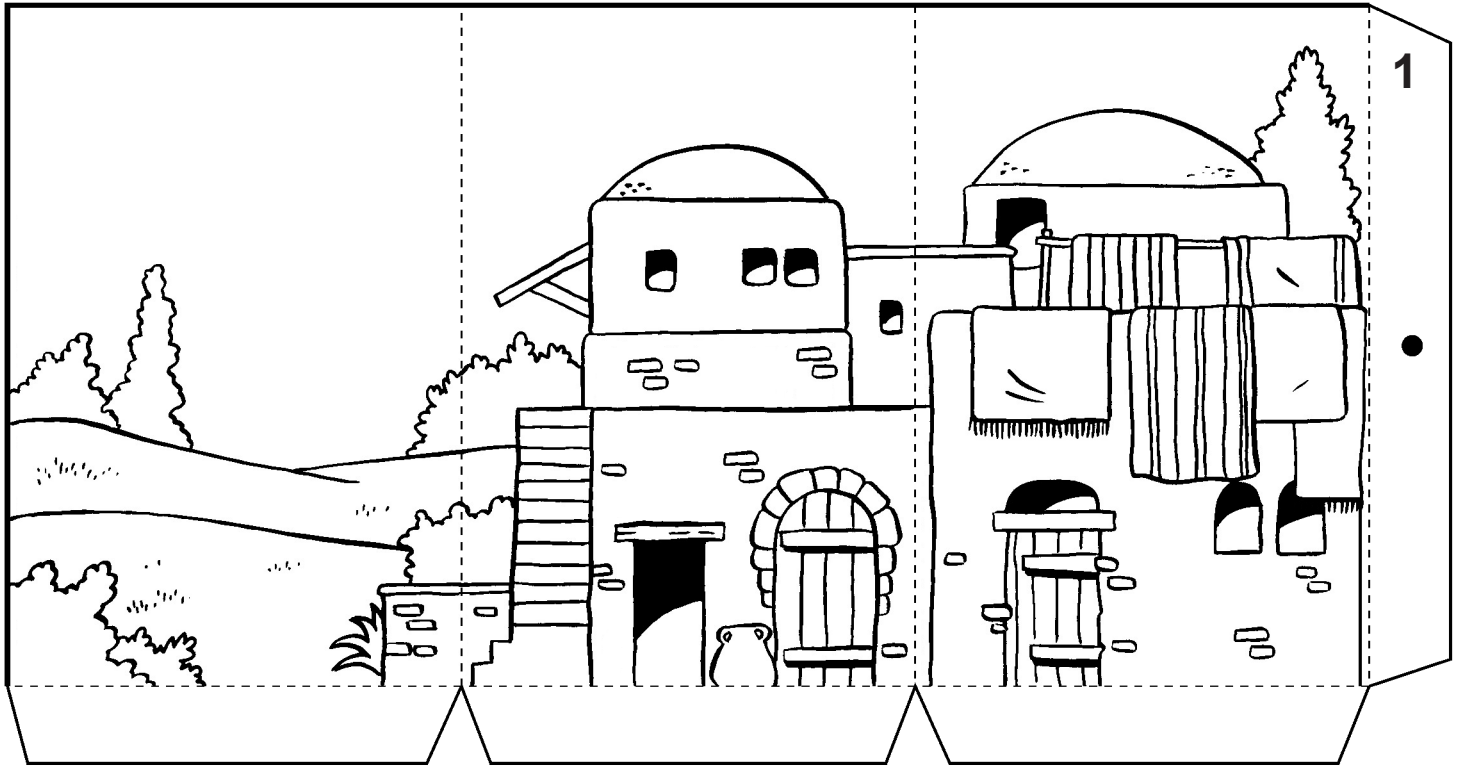


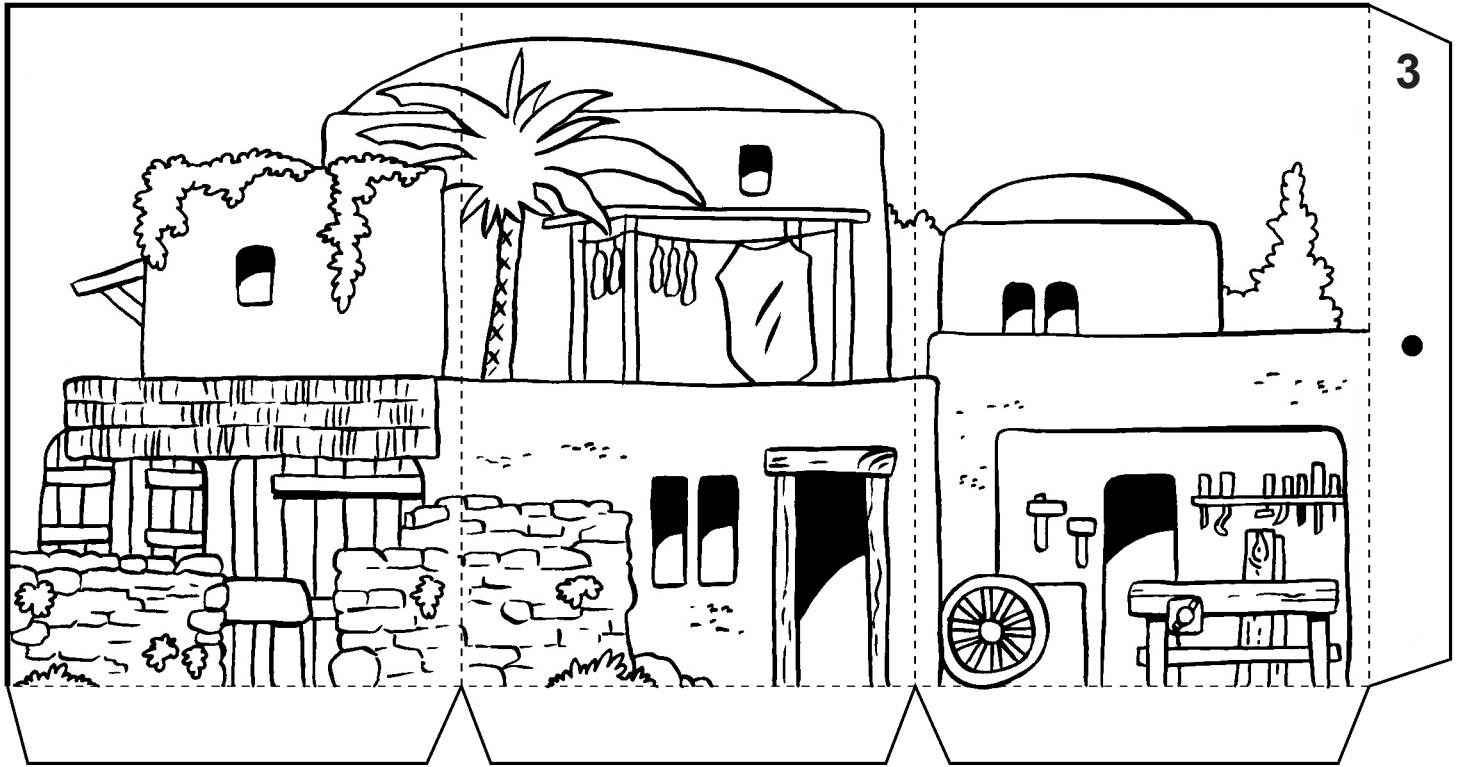












4

